

**がせ** ありがとうのプレゼント作り

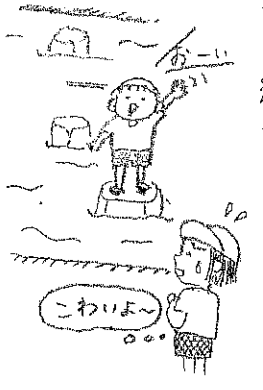
ありがとうの日(18日)に渡すプレゼント作りをしました。いつもご飯を作ってくれたり遊んでくれたり、抱っこしてくれるおうちのの人にプレゼントを作ろうと話しかけ、ケーキのメモスタンドを作りました。紙粘土をこねて好きな形を作りそこに枝やどんぐり、ビーズ等をくっつけて飾ります。どんな色のケーキにするか、飾りはどんな風につけるか考えました。一度飾りをつけたけれど、まだやりたいと全て取り再び紙粘土をこねる子どもや、木の枝を大胆にさして完成させる子どもなど、一人一人が楽しみながら完成しました。おうちに飾って使ってもらえると、子どもたちも嬉しいと思います。

紙屋川へ散歩に行ったよ

保育園の横を流れている紙屋川ですが、さらに南へ行くと川のそばへ降りられる所があります。そこには飛び石もあり川の向こう側へ渡ることもできます。最初子どもたちは真近に流れる川に大喜びです。遊ぶ前に水の中に入らないこと等危険のないよう約束をして遊び始めます。川の中をよく見ると小さな魚が泳いでおり「さかないる!」「ほんとか」と見つけて友だちや保育者に知らせます。少し進むと坂になっており水が勢いよく流れ



ドドド...と大きな水の音を聞くと「すごい!」と迫りにしばらく見入っています。そして今日の目的のひとつが飛び石です。3歳の子どもたちにとって少し勇気がいる程度の間隔が空いています。保育者は子どもたち自身が飛ぶのか、やめておくのか自分で決めるよう見守ります。手を持ってもらったり手伝ったり「がんばれ!」と応援もしますが、静かに見守っているとピョンピョンと怖がることなく飛ぶ子ども、飛び石まで足をぐ〜っと伸ばして、届くかどうか、石確かめる子ども、見た目で「こわい...」「やらない」と言う子ども、それぞれの気持ちが揺れます。この揺れがとても大切だと思います。そして「できるかどうか」を自分で判断することも大切です。様々な思いを経験することで少しずつ成長していきます。これからも保育園で友だちと嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、時には腹の立つこと等感情の揺さぶりをたくさん体験してほしいです。



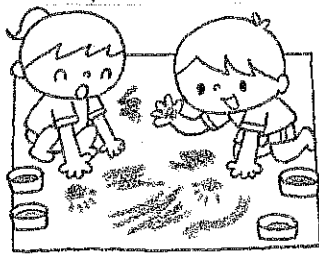
お願い... 汗をかくと服が脱ぎにくくなります。着脱のしやすい半袖、半ズボンの準備をお願いします。

**6月** クラスだよ **2021.6.30** えんまちまぶねりんぽん

- 梅雨に入り、雨が続く日も多くなりました。子どもたちは散歩に行けへんな〜行きたいね〜と言いつつも、日晴れている時とは違った戸外の雰囲気を感じています。むしろ暑い晴れた日は水遊びやシャワーをして気持ちよく過ごしています。7月に始まる予定のプール遊びを楽しみにしている子どもたちです。

**そらぐみ**

**感触あそび** 泥や水、絵の具を使った感触あそびを楽しんでいました。乳児期では、五感を使って心と身体を開放させて全身であそんでいましたが、幼児期ではそれに見立て、つもりあそびが加わり、あそび方が変わり、更に内容も深まっています。乾いた白い砂に泥を半分かけて「カレーペースト」と持ってきた子どもに「おいそう!でも手で食べるの あっそうやな〜!」という、ハッとしてスプーンになるものはないかと探したりします。又、色水あそびでは、青、黄、赤の三原色を使ってブドウジュースにするにはどうしたら良いか教え合ったり、きれいな緑色になると「メロン」、にごった緑色になると「まっせできた」とイメージを膨らませ、発見をくり返しながら1時間弱、飽きることなくやりとりを楽しんでいました。子どもたちの気付きを一つずつ拾って全体に返していくことで面白さをみんな味わっていきたいと思っています。



**1回切りから連続切りへ** 制作ではハサミのりをを使ってあそんでいます。がせぐみから使ってきたハサミですが、まだ持ち方は不安定で集中して息を止めて切っている子どももいます。そこでまず1回切りをもう一度丁寧に見ていきました。セタの貝つなぎの飾りは1回切りのくり返しです。いきすぎて全部切れてしまったり間隔が広く開いてしまったりしますが、切り終えのりがけするとフワッと息をつき、「かいきれい〜」とやりきったようにながめていました。のりもつけすぎたり、少なすぎては上手くくっつかないことを経験の中で自分で気付き、楽しんで作りました。そしてもう一つのセタ飾りはクラゲとタコの足を作る為連続切りに挑戦!ハサミを乗田かく動かして、紙を持つ手もセリやすいよう持ち替えていくこと等を伝えてスタートしました。「むずかしい〜」と言う子どももいましたが、持ち方が分かり、動かす方にも慣れてきたので、楽しい余裕も出てきていました。両手がそれぞれ別の動きをする活動をできるようにする4歳。道具を使ってイメージした物を作る楽しさを感じられれば良いなあと思っています。

たいようぐみ

◎ **“ありがとうの気持ちを入れて”**

お家の方へのプレゼント作りでは「やるやる!!」「たのしみ!」「いつもでかえる?」とやる気満々で取り組みます。木の板をやりでこする工程では「うわ!さらさらになった!」「(こすた-竹を同じで)うん!カステラのにおい!」「ほんまや〜!」と感じていることを伝え合っています。絵の具で色をつけ、表と裏で色を変えたり、色の混ぜずりを楽しんで作る姿があります。乾いてからお家の方を思い浮かべ、ペンで絵を描きました。「おとうさんおじいちゃんおばあちゃんにあげるから!」「いつもはんぶんこでくれる!」「いっしょにあそんでくれる!」「みんなでおかけしてさよう!」と気持ちを込めて作っています。フック型のねじも1つ1つ丁寧に回し入れます。力を入れたいと木に入りたいけれど力をいれすぎてしまうと上手に入らないので「むずかしい〜」と苦戦していた子どもも、援助があるとコツを覚えてきたり、あきらめず何度も頑張ることで「できた〜!」と達成感を感していました。持ち帰りの日には「よるこまでくれるかな?」「はやくやしたい!」「どっか持っています。」「ありがとう、よるこまでくれるかな?」「もうかきこいてあげて!」と嬉しそうに教えてくれています。

◎ **あおむしくん**

園庭の足洗いの場近くのレモンの木でアゲハ蝶の幼虫と卵を発見しました。たまは組が散歩先で見つけ、幼虫を持って帰ってきてくれたようで、子どもたちは「うわ!!ようちやうや!!」「めちやみぞりやばあ!!」「もようがしましや!!」「つのがはえてる!」と大興奮です。虫かごに入れお部屋で育てみることにしました。毎日じーっと観察し、「かわいいうわ!!」「はんかいぬたうサナギになるかなあ?」「うんちしてる!」「ははははははで!」「ひんちやうちやにひんちやう?」と楽しみにしています。イモムシの図鑑を開き、「こいっしや!」と照らし合わせています。卵からかえりだした幼虫もいるので成長を見守り、優しくお世話の気持ちを持って育てたいと思います。



◎ **一緒に考える**

生活の中で自分の身の回りの自立ができるように、おたかを土台に大きくなる力を育てていきたいです。

① 子どもの心が自分たちで見通しをもって生活する力  
大人から見る一見不器用に見えるようは時々、子ども(の)の価値や見通しがあります。気付いたことをすぐに言うのはよく、子どものつもりを見守りながら、随にぶつかるときに一緒に考えることが大切です。

② なかまと一緒に力を合わせる力  
今は野菜の水やりを日替わりでしていますが、グループでの当番活動の幅を広げ、意欲に気づかせるよう見守りたいと思います。

③ どうして円滑に活動できるかよく話し合えて工夫する力  
生活、遊びの場面でも、思っていることを伝え合い、アイデアを出し合えるよう声をかけたり、何かトラブルが起ったとき、上手くいよいよ時、解決策をすぐ提案するのでもよい。「どうすればよいか?」「どうせよ、よいか?」と、子どもたちから考えを引き出し、一緒に考えたりすることを大切にしていきたいです。